東京都市町村職員研修所

参加申込みは所属団体の研修担当者まで

平成30年度　政策課題研究　成果発表会

これからの地域と高齢者との関わりを考える

日時

平成30年12月21日(金)

13：15 ～ 16：30

(開場　12：45)

場所

東京自治会館 別館1階

階段研修室

『政策課題研究』は、自治体が直面する重要課題をテーマに、研修生による自主的な調査研究を通じて政策形成能力の向上を図ることを目的とした研修です。

今年度は、超高齢化社会を見据えて、高齢者を「支えられる存在」ではなく「社会の一員」と位置づけ、考えることをテーマに、18名の研修生が、全8回にわたって議論を重ねてきました。

高齢者が積極的に社会参画できる地域づくりについて政策案を発表します。

コメンテーター　前田（まえだ）　展弘（のぶひろ）　氏

ニッセイ基礎研究所　生活研究部　ジェロントロジー推進室　主任研究員

（東京大学高齢社会総合研究機構　客員研究員）

前田氏に政策案への講評と総括講義をしていただきます。

1971年生まれ。専門はジェロントロジー（高齢社会総合研究）、超高齢社会・市場、ＱＯＬ（Quality of Life）、ライフデザイン。

2004年ニッセイ基礎研究所入社。2009年から東京大学高齢社会総合研究機構客員研究員を務める。

超高齢化に対応した社会づくりに向け、様々なジェロントロジー研究を推進。

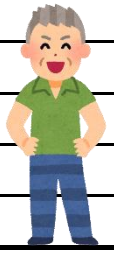
その中で、高齢者の活躍場所を拡大するための「セカンドライフ支援」に関する研究及び事業（千葉県柏市における「生きがい就労」事業等）、東京大学産学連携組織「ジェロントロジー・ネットワーク」（のべ100社参加）における「高齢者市場創造」の研究、安心で豊かな長寿を実現するための高齢者のQOL（Quality of Life）及びライフデザインに関する研究に注力する。

※ジェロントロジーとは・・・医学や社会学，生理学，心理学，経済学，法学，工学，建築学といった多様な学術分野から，高齢者や高齢化の問題を総合的に探求する学問

所属や担当業務に関わらず、興味のある方はぜひご参加ください。

プログラム

13：15～13：30	15分	開会挨拶・オリエンテーション・研修所講師挨拶
13：30～14：15	45分	1グループ成果発表
14：15~15：00	45分	2グループ成果発表
15：00～15：20	20分	休憩・質問票記入
15：20～15：35	15分	質疑応答
15：35～16：20	45分	講評・総括講義（前田展弘氏）
16：20～16：30	10分	研修所講師挨拶・閉会



発表者

1グループ

八王子市	市民課	田代　正幸
立川市	高齢福祉課	中野　恵介
青梅市	西多摩地域広域行政圏担当	岡田　拓海
東村山市	産業振興課	小澤　俊介
国立市	環境政策課	千田　修功
福生市	安全安心まちづくり課	長嶺　彰吾
清瀬市	高齢支援課	廣澤　知招
武蔵村山市	総務契約課	児玉　知丈
日の出町	子育て福祉課	宮田　麻衣香

2グループ

八王子市	高齢者いきいき課	野口　貴広
青梅市	スポーツ推進課	浅海　拓哉
府中市	政策課	菊池　啓友
東村山市	健康増進課	阿南　晃伸
国立市	政策経営課	小保方　雅人
清瀬市	課税課	畠山　晃寿
羽村市	児童青少年課	青木　悟
瑞穂町	地域課	堂垣　祐介
全国市長会	企画調整室	小井土　由佳